仕　様

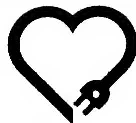
形名		RD-160GD
定格除湿能力	50Hz	14.0L／d
	60Hz	16.0L／d
定格電圧		単相 100V
定格消費電力	50Hz	365W
	60Hz	410W
水受容器		最大約4.3Lで自動的に運転停止
外形寸法		幅385mm×奥行390mm×高さ725mm
製品質量		25kg

- 定格除湿能力・定格消費電力は、室温27℃・相対湿度60%を持続する室内で運転した場合の値です。
- 定格除湿能力(L/d)は1日(24時間)当たりの除湿量を示します。
- 本仕様は日本国内の使用においてのみ適用するものです。

付属部品

- 連続排水用部品
  - 固定具……1個
  - 結束バンド……1個
  - 固定ねじ……2個
  - ゴムブッシュ……1個
- 取扱説明書……1
- 保証書……1

愛情点検



● 長年ご使用の除湿機の点検をぜひ！

このようなことはありませんか

- コゲ臭いにおいがする。電源コード、プラグが異常に熱い。
- 運転音が異常に高くなる。
- 漏電しゃ断器がひんぱんに落ちる。
- その他の異常や故障がある。

▶ 運転スイッチを「切」にし、コンセントから電源プラグを抜いて必ず販売店に点検・修理をご相談ください。費用など詳しいことは、販売店にご相談ください。

お客様メモ

購入年月日・購入店名を記入しておいてください。サービスを依頼されるときに便利です。



お買い上げ日	年　月　日	形名	RD-160GD
購入店名	電話　（　　）		

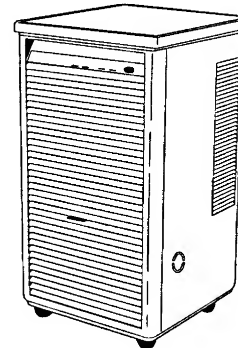
株式会社 日立製作所
〒105-8430 東京都港区西新橋2-15-12
電話 (03)3502-2111

RD-160GD Ⓐ

日立除湿機
取扱説明書

RD-160GD形

HITACHI







この取扱説明書をよくお読みになり、正しくご使用ください。
お読みになった後は、保証書と共に大切に保存してください。

はじめに

この除湿機は、一般家庭を対象とした除湿を目的としたものです。
食品・精密機器・美術品・医薬品等の保存など特殊用途には使用しないでください。

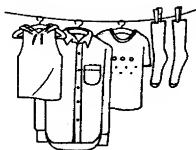
ご使用の前に

こんなときに便利です

有効にご活用ください。



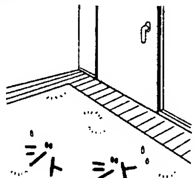
雨や雪で洗濯物が乾きにくいとき。



天井や壁に露がついたり、カビが生えるとき。



畳やカーペットがジトジトするとき。



衣類や革製品にカビやシミができるとき。



たんすの引き出しが開けにくくなったとき。中の着物が湿っぽいとき。



ピアノの音が狂う。キイが重い。



押し入れの中が湿っぽく、乾燥させたいとき。



CD・本・カメラなどの保存に。



安全上のご注意

ご使用の前に

- ご使用の前に、この「安全上のご注意」をよくお読みのうえ正しくお使いください。
- ここに示した注意事項は、いずれも安全に関する重要な内容を記載していますので必ず守ってください。

■ 表示と意味は、次のようになっています。

⚠ 警告 ……	誤った取り扱いをした時に、死亡や重傷等の重大な結果に結び付く可能性が大きいもの。
⚠ 注意 ……	誤った取り扱いをした時に、状況によっては重大な結果に結び付く可能性が大きいもの。

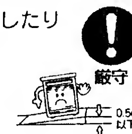
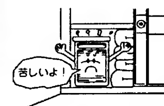
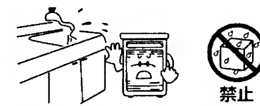
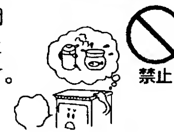
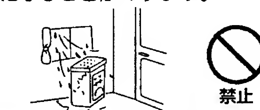
■ 図記号の示す意味は、次のとおりです。

⃠	禁止を表わします。		水をかけたり、濡らしたりしないでください。
	電源プラグを必ずコンセントから抜いてください。	❗	必ず守っていただく行為を表わします。

- お読みになった後は、お使いになる方がいつでも見られる所に必ず保存してください。

⚠ 注意

据え付け上の注意事項

水平で丈夫な場所で使用してください。 ご使用中に除湿機が倒れると内部の水が室内にこぼれて家財などを濡らしたり感電や漏電火災の原因になることがあります。 	**押し入れ・家具の隙間など狭い場所で使用しないでください。** 風通しが悪くなり、発熱・発火の原因になることがあります。  禁止	**水のかかりやすい場所で使用しないでください。** 感電や漏電火災の原因になることがあります。 
油・可燃性ガスの漏れる恐れのある場所への設置は行わないでください。 万一漏れて除湿機の周囲に溜まると、発火や爆発の原因になることがあります。  禁止	**除湿機の上に花瓶など水の入った容器を載せないでください。** 除湿機内部にこぼれて電気絶縁が劣化し、感電や漏電火災の原因になることがあります。 	**屋内専用です。直射日光の当たる場所・雨風の当たる場所で使用しないでください。** 過熱や感電・漏電火災の原因になることがあります。 
美術品や学術資料などの保存等、特殊用途には使用しないでください。 保存品の品質低下の原因になることがあります。 	**連続排水する場合は排水ホースの折れ曲がり・落差などに注意し、確実に排水するように配管してください。** 内部の水が室内にこぼれて家財などをを濡らす原因になることがあります。 	**連続排水する場合は、排水ホースの周囲が氷点下にならないようにしてください。** 排水ホース内部の水が凍結し、除湿機内部の水が室内にこぼれて家財などを濡らす原因になることがあります。 

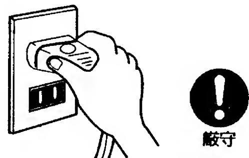
安全上のご注意（つづき）

ご使用の前に

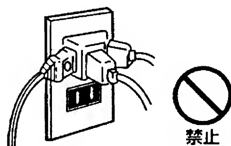
使用上の注意事項

⚠警告

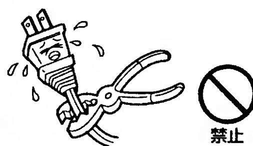
電源プラグは、ホコリが付着していないか確認し、ガタつきのないように刃の根元まで確実に差し込んでください。
ホコリが付着したり、接続が不完全な場合は感電や火災の原因になります。



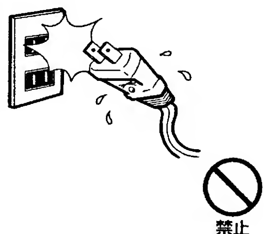
電源コードは、途中で接続したり延長コードの使用・他の電気器具とのタコ足配線をしないでください。
感電や発熱・火災の原因になります。



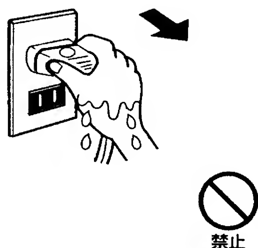
電源コードは、破損させたり加工したりしないでください。
感電や火災の原因になります。電源コードは、重いものを載せたり、加熱したり、引っ張ったりすると破損の原因になります。



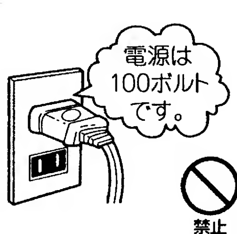
電源プラグの抜き差しにより除湿機の運転や停止をしないでください。
感電や火災の原因になります。



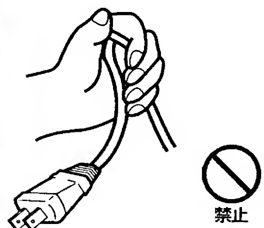
濡れた手で電源プラグを持たないでください。
感電の原因になります。



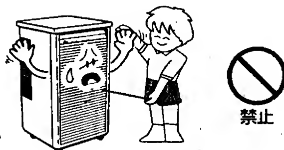
定格電圧（単相100V）以外で使わないでください。
定格電圧以外で使用すると、感電や火災の原因になります。



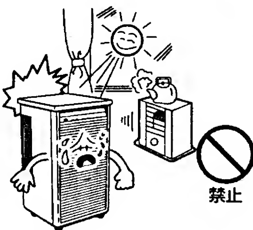
電源コードを極端に折り曲げないでください。
感電や漏電火災の原因になることがあります。



空気の吹出口や吸込口に指や棒などを入れないでください。
内部でファンが高速回転しておりますので、けがの原因になります。



発熱器具の近くに置かないでください。
樹脂部分が変形したり着火する恐れがあります。



⚠注意

電源プラグを抜くときは、コードを持って抜かないでください。
電源コードを引っ張って抜くと、芯線の一部が断線して発熱・発火の原因になることがあります。



掃除をするときは必ず運転を停止し、電源プラグも抜いてください。
運転スイッチを誤って入れたとき、内部でファンが高速回転しておりますので、けがの原因になることがあります。



シーズンオフなど長期間ご使用にならない場合は、安全のため電源プラグをコンセントから抜いてください。
感電や漏電火災の原因になることがあります。



アースを確実に行ってください。
故障や漏電のとき、感電の原因となることがあります。アース工事は必ず販売店に依頼してください。



除湿機からの風が直接あたるところに燃焼器具を置かないでください。
燃焼器具が不完全燃焼をおこし、中毒になる恐れがあります。



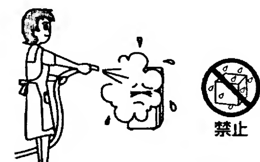
空気の吹出口や吸込口を布などでふさがないでください。
風通しが悪くなり、発熱・発火の原因になることがあります。



除湿機の上に乗ったり、腰掛けたりしないでください。
落下・転倒などによりけがの原因になることがあります。



除湿機を水洗いしないでください。
感電の原因になることがあります。



移動するときは必ず運転を停止し、水受容器の水を捨ててください。
水受容器の水が除湿機内や室内にこぼれて家財などを濡らしたり、感電や漏電火災の原因になることがあります。



無人でシーズンを連続してご使用になる時は、定期的に点検をしてください。
過熱や漏水の原因になることがあります。



除湿機の周囲温度が氷点下になる場合は、水受容器に水を入れたままにしないでください。
水が凍って水受容器が割れて漏水の原因になることがあります。



修理時の注意事項

⚠警告

異常時（焦げ臭いなど）は、運転を停止して電源プラグを抜き、お買上げの販売店または☞⑲ページの「お客様ご相談窓口」にご相談ください。
異常のまま運転を続けると故障や感電・火災の原因になります。



修理は、ご自身で行わないでください。
修理は、必ずお買上げの販売店または☞●ページの「お客様ご相談窓口」に依頼してください。



各部の名称と働き

■ **トップテーブル**
軽いものが置けます。
（約3kg以下）
ご注意
水が入った容器等は
載せないでください。

■ **空気吸込口**
お部屋の湿った空気を
吸い込みます。

吸込空気

■ **前カバー**
つまみを引いて開けます。

■ **つまみ**

■ **空気吹出口（背面・左右側面）**
除湿した乾いた空気を吹き出します。

■ **エアフィルター**
空気中のホコリを取り除きます。

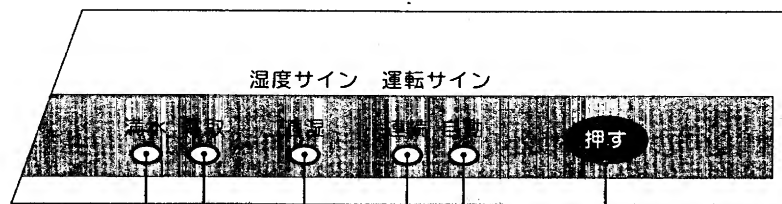
吐出空気

■ **排水ホース取出口**
連続排水を行う場合にお使いください。（☞●ページ）

■ **水受容器**
除湿水がたまります。前カバーの中にあります。満水（約4.3L）になると、自動的に運転を停止します。

■ **キャスター**

■ **操作部** 運転スイッチと運転ランプがあります。



満水ランプ
水受容器が満水になると点灯し、自動的に運転が停止します。

霜取ランプ
霜取りを行っているときに点灯します。

適湿ランプ
湿度が約60％以下のときに点灯します。

運転ランプ
自動点灯中はお部屋の湿度を約55％～60％にコントロールします。連続点灯中は湿度に関係なく運転を続けます。

運転スイッチ
1回押す毎に 自動→連続→停止 をくり返し、運転の切り換えを行います。連続 から 停止 に切り換えたとき、約3秒間遅れて運転が停止します。約3秒以内にスイッチを更に1回押すと運転を続けたまま 自動 運転に切り換わります。

知っておいていただきたいこと

■ 以下の項目をよくお読みいただき、範囲外の使用はさけてください。
■ 除湿機には、冷房能力はありません。むしろ、運転中に熱を発生しますのでお部屋の温度が約1℃～2℃上がります。
■ 除湿機の据え付けは、映像の乱れ、雑音防止のためテレビやラジオ、ラジオのアンテナから1m以上離してください。

1 お使いになれる部屋の広さは、右の表が目安です。

除湿可能な部屋の広さは、住宅構造や洋室・和室の違いなどによっても異なりますが、右の表を目安にお使いください。

50Hz 地区	18～35畳以下（29～58㎡）
60Hz 地区	20～40畳以下（33～67㎡）

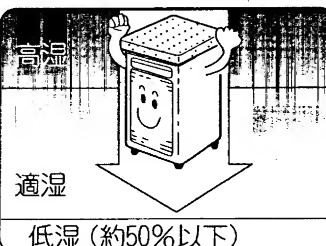
2 運転可能な部屋の温度は1℃～40℃です。

0℃以下では霜取り時間が長くなるとともに、除湿した水が凍り付くため除湿できません。
40℃をこえると除湿機内の温度が上昇し、無理な運転を防止するため、保護装置が働き、運転が停止する場合があります。

1℃～40℃

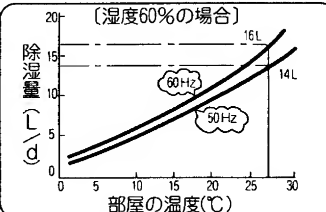
3 特に低湿度（約50％以下）に保ちたい場合は、適しません。

この除湿機は、日常生活に支障をきたす湿度（湿気の害・不快感など）を取り除くためのものです。特に低湿度に保ちたい場合は適しません。また、貴重品の保管にご使用になる場合は、ご希望の湿度に維持できるかどうか、よく確かめてからお使いください。



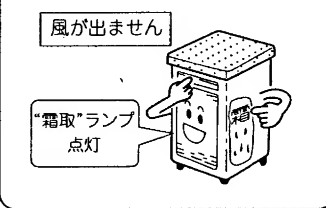
4 除湿量は部屋の温度によっても変わります。

温度が低くなるにつれて、除湿量は図のように少なくなります。



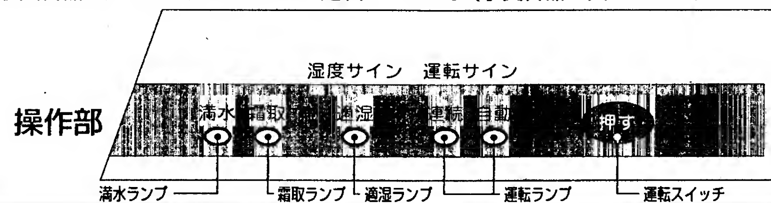
5 霜取り中（霜取ランプ点灯）は風が出ません。

部屋の温度が約18℃以下になると、冷却器に霜が付きますので、霜取り運転を行います。霜取りの頻度は、お部屋の周囲状況およびそのときの温度と湿度によっても異なりますが、約1時間～2時間に1回、1回の霜取り時間は5分～15分程度です。なお、霜取り運転中は“適湿”ランプは点灯しません。



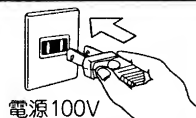
運転のしかた

■ 水受容器が正しく入っていることを確かめてから運転してください。
水受容器が正しく入っていないと運転しません。（水受容器の出しかた・入れかたは☞❾ページ）



運転のしかた

1 電源プラグをコンセントに差し込みます。



2 運転スイッチを押します。

運転スイッチを押すと運転サインの運転ランプが点灯し、運転を開始します。運転ランプは運転スイッチを押す毎に"自動""連続"となり、連続からもう一度押すと"停止"にもどり、約3秒間遅れて運転を停止します。3秒以内に更に運転スイッチを押すと、運転を続けたまま"自動"運転に切り換わります。

運転の種類と使いかた

運転ランプ	使いかた	運転内容
自動	ふだんは、この位置にして除湿運転を	お部屋の湿度を約55%～60%の適湿状態にコントロールします。(☞●ページ)
連続	湿気の多い日や、洗濯物の補助乾燥など急いで湿気を取りたいとき	お部屋の湿度が約55%以下になっても連続して除湿運転を続けます。

留意事項 ●お部屋の湿度は除湿機本体内の湿度センサーでコントロールしていますので、この湿度サインの適湿ランプは目安となります。

次の場合は自動的に運転を停止します。

- 水受容器をはずしたとき。
- 水受容器が満水(約4.3L)になったとき。
- 水受容器から水があふれたとき。
（運転サインの運転ランプが点滅(5回/4秒)します。詳しくは☞●ページ「溢水センサー作動時の解除方法」を参照してください。）
- 機器の保護装置に異常が生じたとき。
（運転サインの運転ランプが点滅します。詳しくは☞●ページ）

⚠警告

- 運転サインの運転ランプが5回/4秒以外の点滅のときは、ただちに運転を停止して販売店へ連絡してください。（詳しくは☞●ページ）
感電や発熱火災の原因になります。

留意事項 ●いったん運転を停止し、再運転すると、圧縮機は3分遅延保護回路の働きで約3分後に運転を開始します。

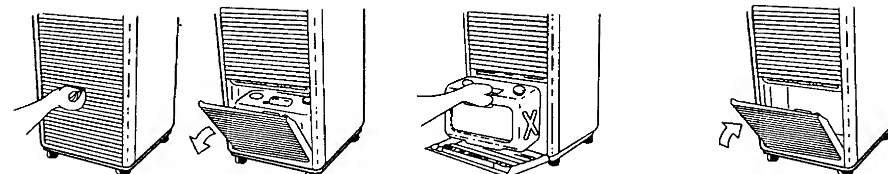
水受容器の出しかた・入れかた

出しかた

1 前カバーのつまみを引いて静かに開きます。

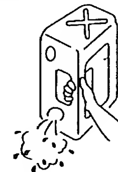
2 水受容器のとってを握り持ち上げながら引き出します。

3 前カバーを閉じます。

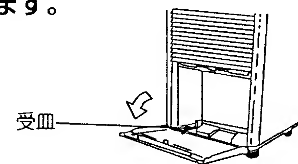


入れかた

1 水受容器の水を完全に捨てます。



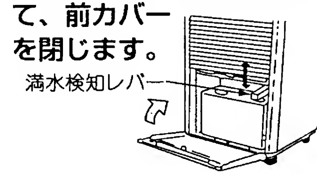
2 前カバーを静かに開きます。



3 水受容器を受皿部に合わせて静かに降ろし、水平に正しく入れます。



4 満水検知レバーが上下方向へ自由に動くことを確認して、前カバーを閉じます。



⚠注意

- 水受容器が正しく入っていないと"満水"ランプが点灯し、運転ができません。このときは、再度水受容器を正しく入れ直してください。
- 水受容器を入れる前に、受皿に水がこぼれているときは、乾いた布で良く拭き取ってください。また、受皿への水こぼれにより運転サインの"運転ランプ"が点滅のままになったときは、水を良く拭き取ってください。(詳しくは☞●ページ「溢水センサー作動時の解除方法」を参照ください。)
- 満水停止前に水受容器を受皿から引き出したときは、必ず水受容器内の水を完全に捨ててから、水受容器を受皿に入れてください。水を捨てないで受皿に戻そうとすると満水停止機能が働かなくなり、水漏れとなります。

運転のしかた（つづき）

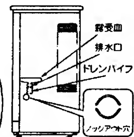
連続排水のしかた

別売品の「排水ホース」形式：RD-1700LTD 945を接続することにより、除湿水の連続排水ができます。連続排水工事をされるときは、お買い上げになった販売店にご相談ください。

排水ホース(形式：RD-1700LTD 945)取り付け方法　●排水ホース…長さ3m

1. 前カバーを開き、水受容器を取り出し、外箱の排水ホース取出口用ノックアウト穴をラジオペンチなどで開けます。ノックアウト穴の切り取り部をヤスリなどで突起がないように仕上げます。

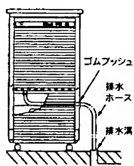
（作業を行う場合切傷がないよう、手袋などにて十分注意して作業してください。）



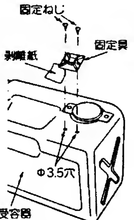
2. 除湿機に付属しているゴムブッシュを外箱の排水ホース取出口用ノックアウト穴に取り付けます。

3. 本体内部の露受皿に挿入しているドレンパイプを抜き取ります。

（取り外したドレンパイプは保管してください。水受容器による除湿運転を再度行う場合に必要です。）



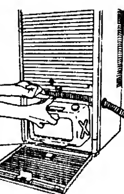
4. 付属の固定具の裏面の剥離紙をはがします。水受容器のφ3.5穴(2ヶ)に付属の固定具を固定ねじで固定します。



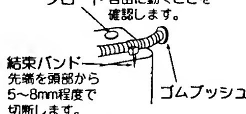
5. 排水ホースの後部（口元部が小さい方）を外箱の排水ホース取出口より引き出します。

6. 排水ホースの先端（口元部が大きい方）を露受皿の排水口に確実に挿入（挿入長さ：約10mm位）します。

7. 取り出してある水受容器を受皿に入れます。水受容器内の除湿水は水受容器を入れる前に捨ててください。水受容器を入れる場合排水ホースを上方へ押し上げながら水受容器を受皿に入れてください。



8. 排水ホースを固定具に結束バンドにて固定します。結束バンドの先端は、結束バンド締付け後ニッパーにて切断してください。フロートに排水ホースが当たっていないか、フロートを上下動作して確認してください。



9. 排水ホースの先端を排水溝に挿入します。余裕がある場合は先端近くで丸める等の長さ調整を行ってください。除湿機本体外の排水ホースに関して排水ホースの踏みつけによる潰れ防止、および排水ホース引っ掛かりによる転倒防止対策をお客様にて実施をお願いします。
排水ホース取り付け作業終了後、除湿機運転を1〜2時間実施し接続部分の水漏れのないことを確認してください。湿度の状態によっては運転時間は多少変化します。

⚠注意

- 排水ホースを取り付けた場合、水受容器に除湿水はたまりませんが、水受容器が入っていないと運転しませんので、水受容器は必ず入れてください。
- 排水ホースは下りこう配になるように設置し、水が流れることを確認してください。
- 排水ホースの先端を水中に入れたり、排水ホースの途中で波打ちが生じないよう、取り付けてください。
- 排水ホースの設置場所が氷点下になるところでは使用しないでください。
排水ホース内部の水が凍結し、除湿機内の水が外にあふれる恐れがあります。

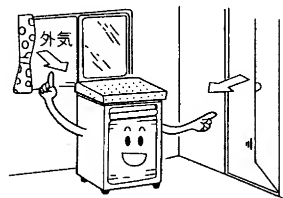
連続排水で使用するときのご注意

- 連続排水で使用するときは、2週間に一度はフィルターの汚れ、排水口の詰まり等を点検し、異常のないことを確認してください。

上手な使いかた

1 窓や扉はきちんとしめて

お部屋の窓や扉の開閉はできるだけ少なくしてください。外の空気が入りますと除湿効果が低下します。

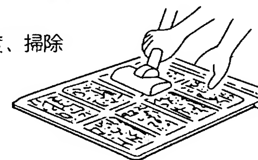


2 空気の循環のよい場所で

効率よく除湿するよう、熱気の少ないお部屋全体の空気の循環のよい場所を選んでください。

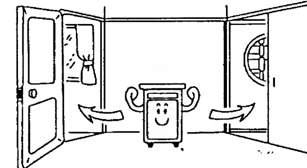
3 エアフィルターの清掃は忘れずに

エアフィルターの目詰まりは、風量を減らし除湿量を減少させます。
2週間に一度程度、掃除してください。



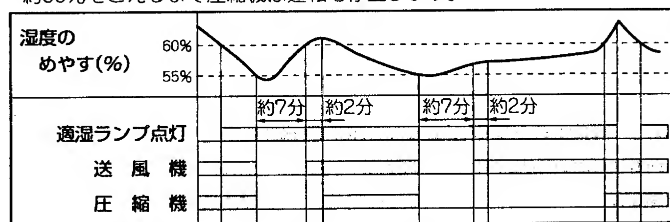
4 6畳〜8畳のお部屋は2室〜3室一緒に

除湿できるお部屋の広さは約18〜35畳です。お部屋の間仕切りを開けて、2〜3室同時に除湿できます。



5 ふだんは"自動"運転で

除湿機本体吸込口にある湿度センサーが除湿運転を自動コントロールして、お部屋の湿度を約55%〜60%の適湿状態に維持します。
"自動"運転中にお部屋の湿度が55%まで低下しますと運転を一旦停止します。
その後約7分後に送風機は運転します。更に約2分後に湿度が約60%をこえているときは、圧縮機も運転し、再び除湿を始めます。湿度が適湿の約60%以下のときには送風機のみ運転を続け、湿度が約60%をこえるまで圧縮機は運転を停止します。



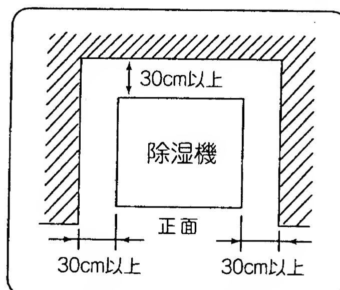


- **除湿機の湿度サインの適湿ランプは、湿度の目安です。お部屋に設置した湿度計と合わない場合があります。**
- **湿度サインの適湿ランプ点灯は、ランプ点灯湿度(約60%以下)と、ランプ消灯湿度(約65%以上)の湿度差を設けています。**
- **霜取運転終了後の約2分間は部屋の湿度状態とは関係なく適湿ランプを点灯します。**

このようなことにもご注意を

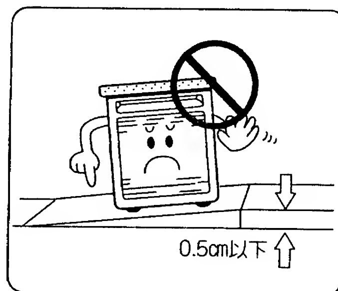
1 設置場所は

床が弱いと振動や騒音の原因になります。除湿機の質量に十分耐えるところをお選びください。また、空気吹出口や吸込口がふさがれますと、機能低下や騒音増大のもとになります。据付スペースは右図を目安にして空気吹出口をあけてください。なお、上方は30cm以上空間を設けてください。



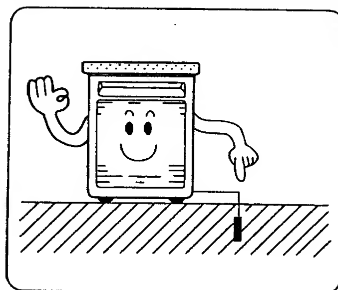
2 水平なところで

除湿機を傾いた状態で使いますと、除湿水が水受容器の外にこぼれ、床を濡らす恐れがあります。また、振動や運転音も大きくなります。傾きの目安は片側0.5cm以下です。



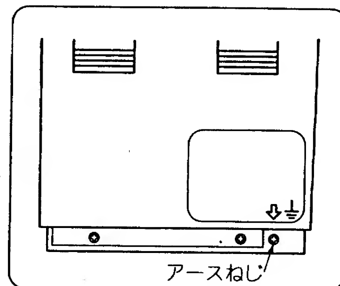
3 アースについて

万一漏電したときの感電防止のために、お買い求めの販売店に依頼してアース工事をしてください。
アース工事は「電気設備に関する技術基準」に定めるD種接地工事（接地抵抗100Ω以下のもの）が必要です。
アース線は背面のアースねじに接続してください。



次のようなところにアース線を接続しないでください。

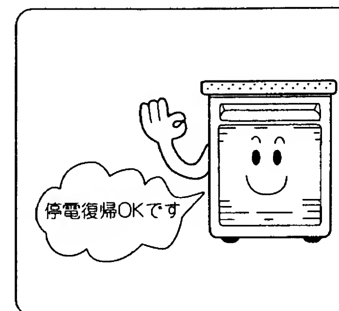
(1) **水道管**
(2) **ガス管**
　引火や爆発の危険があります。
(3) **電話線のアースや避雷針**
　落雷のとき大きな電流が流れ危険です。



4 使用中に停電したとき……

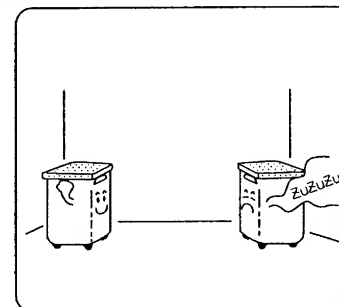
停電したあと、再び電源が入った場合は、自動的に停電前の運転モードに戻ります。
このとき、運転サインの運転ランプの"自動"または"連続"が点灯し、送風機が運転し、約3分遅れて除湿運転を開始します。

- **停電中に除湿機の電源プラグをコンセントから抜かないでください。**
  停電復帰して、再び電源プラグをコンセントに差し込みますと、停電前の運転モードで運転します。



5 同室で2台を同時に運転すると除湿量に差が出ます。

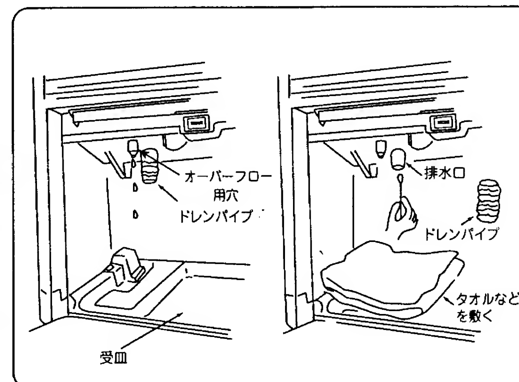
"自動"運転では、湿度を感知する湿度センサーの作動値には許容範囲があるため、湿度センサーの作動値の低い方の除湿機が優先して運転するため、一定時間後の除湿量に差が生じます。



6 ドレンパイプは半年に1回程度、必ずお手入れしてください。

除湿水がオーバーフロー用の穴から滴下しているときはドレンパイプが詰まっています。
このときはドレンパイプを外し、ドレンパイプと露受皿の排水口を長めの綿棒などで掃除してください。
ドレンパイプの詰まりが取れると、除湿機内に溜まった除湿水が流れ出しますので、あらかじめタオル等を受皿の上に置いてお手入れしてください。

お手入れが終わりましたら、ドレンパイプを元の通り排水口に取り付けてください。



お手入れと点検

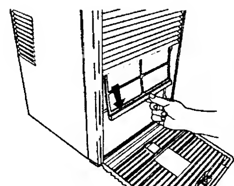
■ 除湿機を長持ちさせるために、定期的にお手入れをしてください。

⚠注意 ●お手入れするときには運転を停止して、電源プラグをコンセントから抜いてください。感電する恐れがあります。

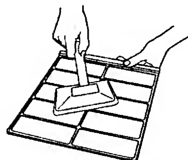
エアフィルターのお手入れ

エアフィルターにホコリがたまりますと、湿度を下げるのに時間がかかるばかりでなく故障の原因になります。2週間に一度程度、次の要領でお手入れしてください。

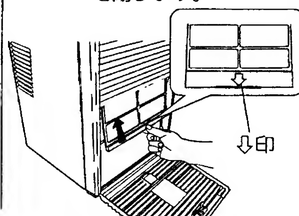
1. 前カバーを開き、エアフィルターのつまみを持ち、下方向にに引き出します。



2. ホコリは掃除機で吸い取ります。汚れがひどいときは、水洗いしてから陰干ししてください。



3. エアフィルターを⇩印を手前にして元の位置に取りつけ、前カバーを閉じます。

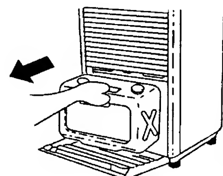


⚠注意
●エアフィルターは40℃以上の温水で洗わないでください。また乾かすときは、直射日光に当てないでください。縮むことがあります。
●掃除終了後は、エアフィルターを必ず入れてください。
入れないで運転しますと、内部にホコリが入り故障の原因になります。

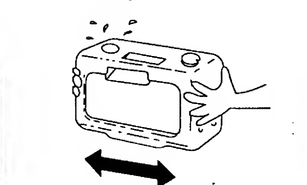
水受容器のお手入れ

水受容器は、本体にセットしたとき、満水検知および水受容器の有無を検知する重要な部品です。変形させないように大切に取り扱ってください。変形させますと運転できなくなる恐れがあります。

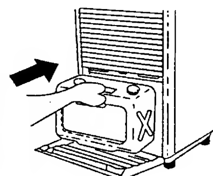
1. 水受容器を本体から取り出します。



2. 中に水を半分ほど入れて振り排水します。これを2回～3回繰り返します。



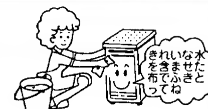
3. 外側の水滴を乾いた布で拭き取り、本体に入れます。



⚠注意 ●水受容器は40℃以上の温水で洗わないでください。また乾かすときは、直射日光に当てないでください。変形することがあります。

外装のお手入れ

1. 柔らかい布にぬるま湯か中性洗剤を含ませてふいてください。
2. 中性洗剤をお使いのときは、必ずきれいな水を含ませた布でふきとってください。



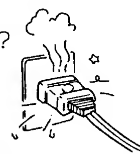
⚠注意
●除湿機に水がかかると絶縁が悪くなったり、さびたりします。
電気部品（スイッチなど）の周囲をふくときは、布をかたく絞ってください。
●次のようなものは使わないでください。プラスチックをいためます。
シンナー・ベンジン・アルコール・石油・粉石けん・みがき粉・アルカリ性洗剤・熱湯・酸・たわしなど。
●化学ぞうきんをご使用の際は、その注意書きに従ってください。



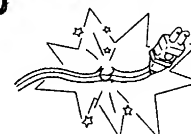
定期的に点検しましょう

安心してご使用いただくために、半年～1年に一度定期的に次のような点検を行ってください。
そのとき、もしご不審な点がありましたら、すぐにお買い上げの販売店にご連絡ください。

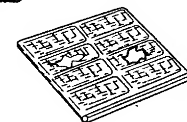
1. 電源プラグに異常な発熱などありませんか？



2. 電源コードにきれつやすり傷がありませんか？



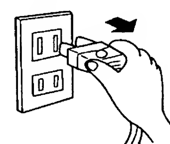
3. エアフィルターが破れていませんか？



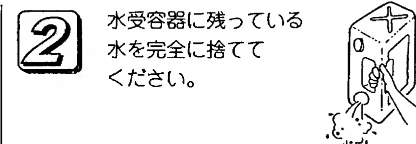
長期間お使いにならないときは

■ シーズンオフなど長期間お使いにならない場合は、除湿機を長持ちさせるために次の処置をして保存してください。

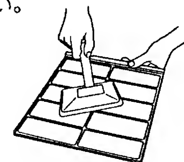
1. 電源プラグをコンセントから抜いてください。



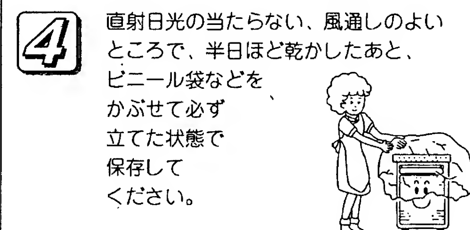
2. 水受容器に残っている水を完全に捨ててください。



3. エアフィルターを掃除してください。



4. 直射日光の当たらない、風通しのよいところで、半日ほど乾かしたあと、ビニール袋などをかぶせて必ず立てた状態で保存してください。



故障かな？と思ったら

サービスを依頼されるまえに



状　況	次の点をお調べください
運転スイッチを入れても運転しないとき	●水受容器が正しく入っていますか？水受容器を入れ直してみてください。 ●霜取り中ではありませんか？（詳しくは☞❼ページ） ●電源プラグがコンセントにしっかり入っていますか？ ●ご家庭の漏電しゃ断器やヒューズが切れていませんか？ ●停電ではありませんか？ ●水受容器が満水になっていませんか？
除湿量が少ないとき	●エアフィルターが目詰まりしていませんか？（詳しくは☞⓮ページ） ●部屋の温度、湿度が低くありませんか？（詳しくは☞❼ページ） ●空気吸込口や空気吹出口がふさがれていませんか？
湿度がなかなか下がらないとき	●ドア、窓の開閉が多くありませんか？ ●石油ストーブその他水蒸気が出るものがありませんか？ ●部屋が広すぎませんか？（詳しくは☞❼ページ）
音がうるさいとき	●床が不安定ではありませんか？ ●除湿機の置きかたが悪く、がたついていませんか？ ●水受容器から音が出ている場合は、1度水受容器を外してから再度確実に入れてください。
運転サインの運転ランプが5回/4秒点滅になったとき	●水受容器の下の受皿に水がこぼれていませんか？ （溢水センサーが作動していませんか？詳しくは☞●ページ）

これは故障ではありません

- 運転すると部屋の中がしばらくの間カビくさくなることがあります。これは壁などから取り出された水分のにおいで、除湿機のにおいではありません。
- 湿度が非常に高いとき、水受容器に露がつくことがあります。これは除湿水が冷たいためで異常ではありません。
- ときどき水の流れるような音がすることがあります。これは除湿機内で冷却液が流れる音です。

●以上のことをお調べになり、それでもぐあいの悪いときは、電源プラグをコンセントから抜き、すぐにお買い上げの販売店にご連絡ください。販売店名は、裏表紙の「お客様メモ」欄に書いておくと便利です。アフターサービスについては☞⓱ページをご覧ください。

こんなときは、すぐ販売店へ。

■ **次の症状のときは、ただちに運転を停止して販売店へご連絡ください。**

- 運転サインの運転ランプが下記のように点滅するとき。電源プラグを抜く前に点滅回数を確認の上、販売店にご連絡ください。
  - 1回/4秒……湿度センサー異常
  - 2回/4秒……霜取りセンサー異常
  - 3回/4秒……高温センサー作動（オーバーヒート）
  - 4回/4秒……高温センサー異常
  - 6回/4秒……マイコン用回路の異常
- 漏電しゃ断器、ヒューズがたびたび切れるとき。
- 除湿機内に誤って異物や水を入れてしまったとき。
- 電源プラグやコードが異常に熱いとき。



5回/4秒……溢水センサー作動（詳しくは☞●ページ）

保証とアフターサービス（必ずお読みください。）

保証について

この商品は保証書付きです。
保証書は、販売店で所定事項を記入してお渡しいたしますので、記載内容をご確認いただき、大切に保存してください。

保証期間はお買い上げの日から1年間です。
（ただし、冷凍サイクル部分は3年間です。）
なお、保証期間中でも有料になることがありますので、保証書をよくお読みください。

保証期間経過後の修理については、販売店にご相談ください。
修理によって機能が維持できる場合は、お客様のご要望により修理いたします。
費用など詳しいことは、お買い求めの販売店にご相談ください。
当社は、販売店からの注文により、補修用性能部品を販売店に供給します。

補修用性能部品の保有期間について

除湿機の補修用性能部品の保有期間は、製造打切後8年です。
性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

アフターサービスについて

■ **使用中に異常が生じたときは、運転スイッチを「切」にし、直ちに電源プラグを抜き、お買い上げの販売店に修理を依頼してください。**

アフターサービスをお申しつけいただくときは、右のことをお知らせください。

形　　名	…RD-160GD
故障状態	…できるだけ詳しく
道　　順	…付近の目印も

アフターサービスでお困りの場合は
アフターサービスについてご不明の場合、その他お困りの場合は、お買い上げの販売店か☞⓳ページのご相談窓口へお問い合わせください。

転居されるときは
ご転居により、お買い上げの販売店のアフターサービスを受けられなくなる場合は、前もって販売店にご相談ください。
ご転居先での日立の家電品取扱店を紹介させていただきます。

溢水センサー作動時の解除方法

●**溢水センサーが作動した場合は運転サインの運転ランプ点灯が5回/4秒の点滅に変ります。**

溢水センサー作動時の解除方法

①除湿機の水受容器を取り出し（満水ランプが点灯します）、受皿、溢水センサー部のこぼれた水を拭き取ります。

②溢水センサー部および受皿を乾いた布で拭き取り、溢水センサー部をドライヤ（冷風にて約10分位：こぼれた水の、拭き取り方、ドライヤの風量、周囲の温度・湿度にて乾燥時間が大きく変化します）で乾燥させてください。溢水センサーの解除確認は本体内部の水受容器検知レバーを押すことにて満水ランプが消灯し、運転サインの運転ランプが点滅から点灯に変ることで確認することができます。

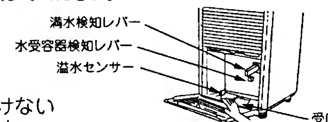
③溢水センサー作動の解除を確認した後、水受容器を除湿機内に正しく入れてください。満水ランプが消え、運転ランプが点灯して、運転を開始します。

溢水センサー作動中の注意事項

①溢水センサー作動中、水受容器を除湿機本体から取り外すと満水ランプが点灯し、運転サインの運転ランプは点滅から点灯にかわりますが溢水センサーの作動要因（こぼれた水）を取り除くまで溢水センサーは作動を継続します。

②この状態にて、再び水受容器を入れると運転ランプは点滅に戻ります。

③溢水センサー作動時の解除方法を行い、水受容器を入れても運転ランプの点滅が消えない場合は販売店に修理を依頼してください。



⚠ **注意** ●ドライヤの温風は、絶対に吹き付けないでください。故障の原因となります。

別売品ついて

■ 連続排水を行うときで、落差がとれないとき、別売のドレンポンプ RD-DP1を使えば、床上約2mまでのドレンアップが可能です。

ドレンポンプ RD-DP1（設置例）

1. 連続排水のしかた（詳しくは☞⑩ページ）排水ホースの取り付け方法[1]、[2]によりノックアウト穴をあけ、ゴムブッシュを取り付けます。
（ゴムブッシュのないときは、ドレンポンプに付属しているフリーブッシュを使用してください。）

2. 除湿機本体の水受容器を取り出します。
（水受容器は、ドレンポンプの使用をやめたとき、再使用しますので、保管してください。）

3. ドレンポンプのポンプ用コードと排水ホースを除湿機内から[1]であけた排水ホース取出口に通し、ドレンポンプを除湿機の受皿に合わせて水平に入れます。
ドレンポンプを設置の際、除湿機本体の満水検知レバーに排水ホースが当たらないようにしてください。

4. 電源ボックスを木ねじを使用して除湿機とコンセントの中間で配線処理の良い柱や壁などに引っかけて取り付けます。(右図参照)

5. 排水ホースを排水口に挿入します。排水口までは、別売の排水ホース(形式RD-2004 026)を接続してください。
（使用環境等の条件によっては、排水ホースに結露することがありますので断熱処理をしてください。）

6. ポンプ用プラグを電源ボックスに挿入し、電源プラグを100Vコンセントに接続します。

7. ドレンポンプの動作確認は細長い空のペットボトルなどを良く水洗いし、水をドレンポンプの開口部に注ぎ、ドレンポンプが動作し、排水が確実にできることを必ず確認ください。

● ドレンポンプの設置については、RD-DP1「日立除湿機用ドレンポンプ」の取扱説明書をよくお読みになり、正しくご使用ください。

お客様ご相談窓口

日立家電品についてのご相談や修理はお買上げの販売店へ
なお、転居されたり、贈物でいただいたものの修理などで、ご不明な点は下記窓口にご相談ください。

修理などアフターサービスに関するご相談は
0120－3121－68

商品情報やお取り扱いについてのご相談は
0120－3121－11

＊フリーダイヤルされますと、お客様の地域を担当するセンターへおつなぎします。

一般ご相談窓口　家電品についてのご意見やご要望は各地区の お客様相談センター へ

担当地域	電話番号	所　在　地
北海道地区	011－833－5088	札幌市白石区東札幌2条4－1－10
東北地区	022－232－5088	仙台市宮城野区扇町1－1－45
関東・甲信越地区	03－3834－8588	台東区東上野2－7－5（日立家電上野ビル）
中部地区	052－795－5088	名古屋市守山区川宮町55(日立家電守山ビル)
関西地区	078－431－5088	神戸市東灘区甲南町1－3－8
中国地区	082－231－5088	広島市西区観音新町1－7－17
四国地区	0877－47－1088	坂出市林田町4285－143
九州・沖縄地区	092－281－5088	福岡市博多区店屋町7－18（博多渡辺ビル）

●ご相談窓口の名称、所在地等は変更になることがありますのでご了承ください。　—F.12—